白根市政だより
新潟県白根市
発行所　白根市役所
発行人　吉沢正五
編集　企画審議室

県立白根高等学校
第一期建築工事に着手
—請負額 三、三二〇万円—

県立白根高等学校の第一期建築工事は、いま急ピッチに進められています。この工事の競争入札は十一月十二日、十四の指名業者間で行なわれ三千三百二十万円で新潟市の藤田組に落札、工事を請負うことになったものです。

第一期建築工事は、鉄筋コンクリート三階建の本館三、一三二平方㍍の一部一、四八五平方㍍、八つの普通教室が建設されます。

地鎮祭と起工式を挙行

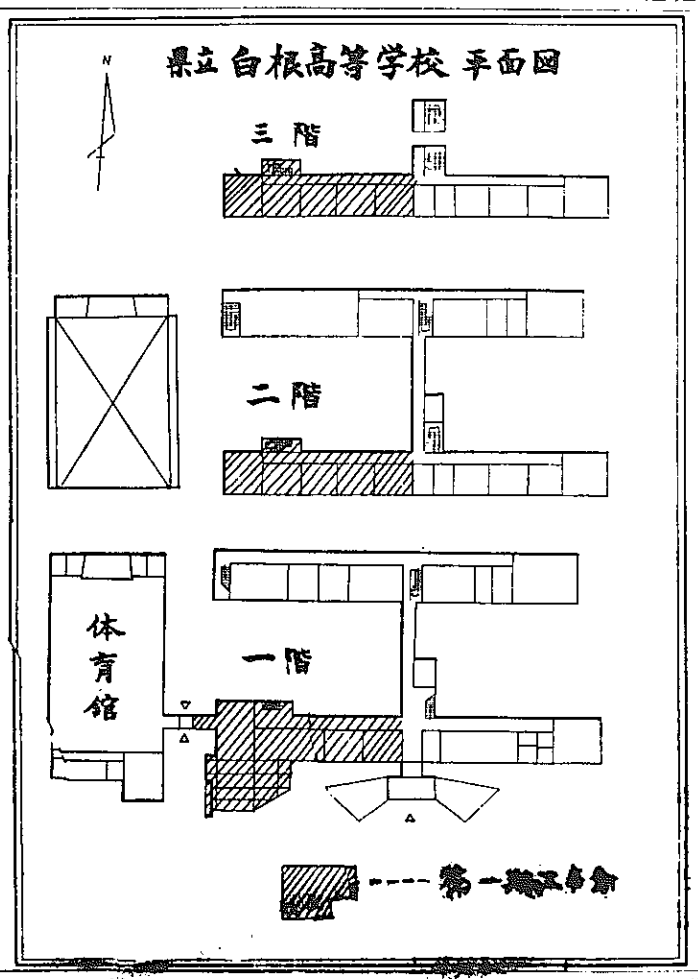
県立白根高等学校の地鎮祭と起工式は、去る十一月二十七日午前十時から、市役所三階大会議室において、吉沢市長はじめ来賓多数参席のもとに、盛大に行なわれました。

初代白根高校長に西川氏

来春開校される白根高校の初代校長に、西新発田高校教頭西川栄一氏（五一才）が任命されました。

西川白根高校長

西川校長は、和歌山県の出身、昭和十年京大卒、同年村上桜ヶ丘高女を振り出しに、昭和十二年から十六年まで三重県立桑名中学、同年四月新発田高女（現在の西新発田高校）とほとんど新潟に在住。趣味は囲碁、家族はおかあさん、奥さん、新大生の長女をかしらに三女があり、六人ぐらし。



白根高校建設寄付金

十一月二十六日現在ご寄附ありがとうございました。ここにご芳名を掲載いたしまして、厚くお礼を申し上げます。（目標額達成部落のみ掲載）

三〇、〇〇〇円　東京都港区芝高輪台町三一　小林道夫
五、〇〇〇円　白根地区婦人会
二五、九九七円　庄瀬地区　上道潟部落
一七、五〇〇円　庄瀬地区鋳物師興野部落
六二、三九〇円　茨曽根地区　清水部落
七八、五六〇円　茨曽根地区　下茨部落
二六、二三〇円　茨曽根地区　丸潟部落
四六、六〇〇円　茨曽根地区　道潟部落
六九、三二〇円　茨曽根地区　東萱場部落
三四、五〇〇円　庄瀬地区　仲新保部落
二九、四〇〇円　庄瀬地区　下道潟部落
二六、六〇〇円　庄瀬地区　下町部落
二六、八〇〇円　庄瀬地区治郎衛門興野部落
二三、八一〇円　茨曽根地区　新村部落
四五、二七〇円　茨曽根地区　上茨部落
三一、〇八〇円　茨曽根地区　庚部落

「社会を明るくする運動」
—募金結果報告—

先般行なわれました「社会を明るくする運動」封筒募金につきまして、市民のみなさんの格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

募金総額金を新潟保護観察所へ送金いたしましたことを報告するとともに、今後とも犯罪の防止と犯罪者の更生に、暖かいご協力ご援助を賜わりますようお願いいたします。

なお、地区別募金額は次のとおりです。

地区別	金額
新飯田	二、六六〇円
庄瀬	五、五四〇円
臼井	五、七二八円
大郷	三、九一五円
鷲巻	五、一六一円
根岸	三、八一六円
白根	三、九七八円
小林	四、九四一円
茨曽根	二、六七一円
合計	五七、[illegible]円

（保護司会）

歳末の火災防止を！

毎年十二月にはいると、火災の件数はうなぎのぼりにふえる傾向を示しています。

正月を迎えるための不用品の焼却はあと始末を完全にする。石油ストーブは倒れないよう安定した場所におく。歳末大売出しやクリスマスの飾りつけは、不燃処理をしたものを使うことなど、火災防止に心がけて、お互いに注意しましょう。

★　☆

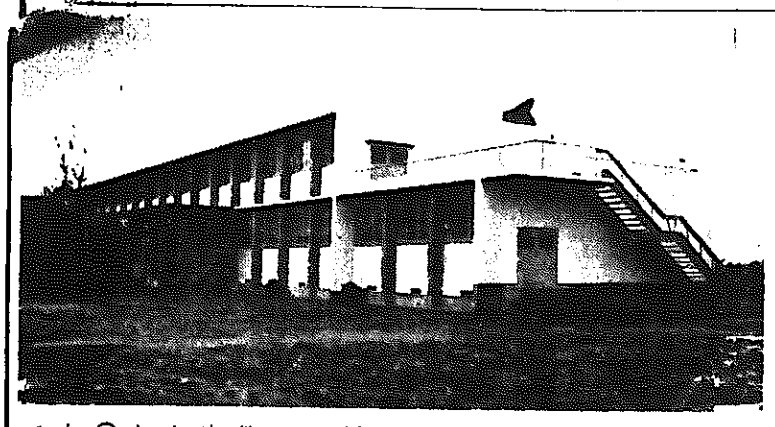
農委出張日割

十二月は次のとおり、係員が出張します。

農地の移動手続や、農地問題について、ご相談に応じております。

日	場所
十日	新飯田駐在室
〃十一日	大郷　〃
〃十二日	茨曽根　〃
十三日	鷲巻　〃
〃十四日	庄瀬　〃
〃	根岸　〃
〃	小林　〃
〃	臼井　〃

庄瀬中学校が復旧
—鉄筋コンクリート二階建—



庄瀬中学校の校舎が十一月十五日に竣功しました。

昨年の第二室戸台風によって全壊した校舎を、今年の五月に災害復旧事業として工事請負金額二、一一〇万円で合資会社新津建設が工事を施行し完成したものです。

新らしい校舎（写真）は鉄筋コンクリート二階建で八つの普通教室と管理室、放送室などからなっており、面積は一階五九七平方㍍、二階四八〇平方㍍、計一、〇七七平方㍍、白亜のモダンな校舎です。

農地法のはなし【1】
農地の売買に三の条件
息子の名義にかえるには……

農地の価値は、耕作することによって生れてきます。だから農地は耕作者が自分で所有することが一番望ましいことです。

農地法は、耕作者の権利を保護し、耕作者が農地を買いやすいようにし、また安心して農業生産にはげんでゆけるようにすることを目的としていろいろなことを規定していますが、その内容のあらましを、これから五回にわたって問答式でお話ししてみましょう。なお、くわしいことや、わからないことは、いつでも農業委員会事務局に遠慮なくおたずねなり、ご相談下さい。

①農地を売りたいのですが……だれに売ってもよいのですか。

農地法では農地を買うことができる人を、次のように制限しております。

(1) 農地を買って、それを自分で耕作するのでなければならない。

(2) 現在耕作している面積が三反歩（約三〇アール）以上でなければならない。

(3) 現在耕作している農地と貸し付けている農地とを合わせた面積が、定められた面積をこえた場合は、原則として許可されないことになっていますが、買う人が主として、自家労力でうまく経営ができる場合は、その制限面積をこえても買うことができます。

少くともこれら三つの条件のいずれにもあてはまらなければ、買うことができませんから、もし、その農地が小作地であれば、その農地の小作人でこれらの条件にあてはまる人しか買えないことになりますし、自作地であれば、これらの条件にあてはまる人なら、だれでも買うことができます。

こうして買う人がきまれば売る人と買う人と双方いっしょに書類を作って、県知事の許可を受けて下さい。県知事の許可がなければ売ることもできないし、所有権移転の登記もできません。

②小作人が①の条件にあてはまらない場合、その小作地はどうにもならないか。

その小作人は農地を買うことはできないが、国から買いとってもらうことはできます。その場合の買取価格は、小作料の十一倍ときめられています。買いとってもらう方法については、農業委員会事務局にご相談下さい。

③農地を息子の名義に書きかえできますか。

この場合も、①の場合と同じように考えられますから、買うことのできる条件にあてはまる農家でいっしょに生活し、耕作に従事している息子さんなら、自作地についてはできますが、貸付地についてはできません。また息子さんが分家しているときは、①の他人に売る場合と同じことになります。いずれにしても県知事の許可を受けなければなりません。

＝つづく＝

図書館だより

◎NHK特別取材班 南ヨーロッパを行く
一戸久・島村和尾西清重・足立正吉共著

「NHK民族と文明特別取材班」は昨年八月から十二月はじめまで、四カ月にわたり、ポルトガル、スペイン、イタリア、ギリシヤ、アラブ連合共和国（エジプト）の五カ国を取材旅行した。それは、テレビとラヂオで放送され、非常に好評を博した。この本はその報告書である。ポルトガル、スペイン、イタリアなどのラテン諸国におけるカトリックの根強さ、意外なまでに荒れはてているギリシヤの遺跡、新興のアラブ連合共和国における民度の低さ、といったものをよく伝えている。（規外、二七三頁、日本放送出版協会）

× × ×

◎南米耳袋
—和尚ラテンアメリカを行く—
今東光著

南米から帰り羽田で新聞記者に一言で感想をといわれた時、「南米へ行って人生観が変った」といったというが、その南米旅行を綴ったものである。

太陽と美女と民族のエネルギーがいっぱいのラテンアメリカは、「僕にとって永遠にラ・ノヴィア（恋人）だ」といっているが、この人一流のものの見方で、十二分に南米を観察しており、一風かわった紀行とされている。（B6、二三四頁、講談社）

× × ×

◎トルストイ入門
中村白葉著

昨秋「トルストイについて」と題し、NHKから七回にわけて放送したものに加筆してまとめたものである。序の章、伝記、家出—死、「戦争と平和」「アンナ・カレーニナ」、「復活」、その他解説編（付録として）の七章から成る。トルストイの名は知りながら、その人および作品に興味を持っていない人々、興味は持ちながら、親しむ機会をうるに至らなかった人々に、その興味と親しみをおぼえさせる案内書であり、手引き書である。（B4、二四八頁、有信堂）

人口動態

	男	女
	6,125	35,301
	16,783	18,518

（10月中）

出生	50	婚姻	43
死亡	30	離婚	1
転入	40	転出	47